

# 岩手県立大学メディアセンター 図書館だより

**CONTENTS**

1. Recommend books おすすめ図書
2. News ①
3. Calendar
4. News ②
5. FAQ よくある質問
6. Report ライブラリー・アテンダント活動報告

## 1. Recommend books おすすめ図書

【村山 優子先生 (ソフトウェア情報学部) 紹介図書】

### 『日本の「安心」はなぜ、消えたのか— 社会心理学から見た現代日本の問題点』

山岸俊男著

このコラムの執筆を依頼された時、大好きなジェイン・オースティンの「高慢と偏見」等の書籍を挙げようとしたが、既に、高橋聡先生が「マンスフィールド・パーク」について素晴らしい解説をされていた。従って、今回は、私の研究に関わる楽しい本を紹介する。

本書は、信頼 (トラス) や安心についての研究で著名な、社会心理学者の山岸俊男先生が、わかりやすく当該分野を紹介されている。先ず、自分の利益を犠牲にして他人の利益をはかる利他的な行動は、最後に利益が戻ってくることで成り立っているという。これを商人道と捉え、理性だけで無私の倫理行動を求めようとする武士道とは相容れないことを示す。このまえがきから、読者は著者のユニークな視点の世界に思わず引き込まれてしまう。

様々な内容が記されているが、例えば、日本人は、他と同じでいることが好きなのだという典型的な考え方は、実は違うということが示される。日本人は世の中で考えられているほど、集団主義的な人間ではないこともわかる。米国人の方が人を信頼するのは何故かについての章も面白い。また、「空気を読む」という風潮は昔の日本に象徴される安心社会では有効だが、グローバルな環境では役立たない。

長らく英国に居て帰国した私には、特にこれらの見方は納得できことが多い。仲間内だけの安心の社会を作ろうという気風は、わが国では、よく見受けられる。しかし、こうした安心の社会では、外の世界から入ってくる他人を信頼して受け入れることが難しい。相手を信頼するか否かの判断能力が育たない。世界は、益々、相互連携を必要とする。今後グローバルな社会に生きる学生諸君には、是非、本書をお薦めする。国際化やグローバル化とは、単に語学が堪能になることではなく、こうした考え方を身に付けることではないかと思う。

さらに、もう少し専門的なことに興味がわけば、山岸先生の「信頼の構造: ころろと社会の進化ゲーム」(東京大学出版会)もお薦めする。

集英社インターナショナル  
(2008年2月発行)  
請求記号 361.4:ヤ  
所在 4F開架

NO IMAGE

## 2. News ①

### 学生選書ツアーに行ってきました!

「選書ツアー」とは、図書館に置きたい本を、学生が書店で直接選べる企画です。

8月8日、10名の学生が集まり、思い思いに選書をしていただきました。

## 3. Calendar

| 10月 |    |    |    |    |    |    | 11月 |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|     |    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4   |    |    |    |    |    | 1  |
| 5   | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 2   | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 12  | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9   | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 19  | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16  | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 26  | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    | 23  | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
|     |    |    |    |    |    |    | 30  |    |    |    |    |    |    |

■ 9:00-21:00 ■ 9:00-17:00 ■ 9:00-16:00 ■ 休館日

参加者からは、「勉強や卒業研究等に使いたい図書を選んで楽しかった」等の感想が多く寄せられました。10月中旬頃より、図書館内企画コーナーにて展示を開始します。ぜひご利用ください!

## 4. News ②

# 今年もやります！ 蔵書リユース市

大学祭で毎年好評をいただいている蔵書リユース市を今年も開催します！

除籍した本をどれも**1冊100円**で販売します。  
学習に役立つ掘り出し物が見つかるかも？  
ぜひご利用ください。

日時 平成26年10月25日（土）10：00～16：00  
26日（日）10：00～15：30

場所 多目的スペース 風のモント（図書館のとなり）

- ※ 持ち帰り用の袋をご持参ください。
- ※ おつりの要らないようご協力ください。

## 5. FAQ よくある質問

Q 借りている本を一度返却してすぐにまた借りることはできますか？

A 残念ながらできません。  
返して、すぐ借りて、を繰り返すと、ひとりの方がその本を長期間独占できる状態になってしまいます。  
他にも利用したい方がいるかもしれませんので、翌日以降にご利用ください。

なお、返却期限内でしたら、期限の延長ができます（1回まで）。  
カウンターかお電話にてお申し出いただくか、学内利用者の場合、蔵書検索システムの「マイライブラリ」を利用すれば、Web上でも延長手続きができます。

## 6. Report ライブラリー・アテンダント活動報告

総合政策学部3年の武田です！8月21・22日に山口大学で開催された、図書館学生協働シンポジウムに参加してきました。その様子をお伝えします。

1日目は、基調講演の後、ポスターセッションがあり、LAの活動について発表してきました。発表は緊張しましたが、「熱意のある発表だった」とお褒めの言葉をいただけてうれしかったです。他大学さんの発表も拝聴しました。目を見張る取り組みばかりでした。そのあとは、図書館を見学させていただきました。開放的な自習スペースが印象的でした。夜は交流会でした。打ち解けた雰囲気の中で、図書館職員、学生の立場を超えた交流ができて楽しかったです。

2日目は、ワールドカフェ形式で「図書館協働は本当に利用者の役に立っているのか」について討論しました。利用者の定義があいまいで、役に立っているかを測定するための尺度がなく、話し合いは難航しました。明確な結論は出てきませんでしたが、今後のLA活動で探していこうと思います。

この2日間で、山口大学の学生協働の皆さんをはじめ、参加大学の図書館ボランティアの皆さんの熱意を全身で感じることができ、有意義なものとなりました。来年もぜひ参加したいです。

ポスターセッションのようす↓



### LAの おすすめ

こんにちは！LA2年の鈴木です。今回は県立大学以外の図書館等からの図書の借受依頼システムについて紹介したいと思います。

皆さんは、県立大学図書館に探している本の所蔵が無くがっかりしたことはないですか？その本、どこか別の図書館にならあるかもしれません！メディアセンターを通じて、他大学の図書館等に図書の貸し出しを依頼することができます。申し込みは蔵書検索システムから行うことができます。詳細な方法は図書館HPをご覧ください。諦めていたあの本を、ついに読むことができるかも？ぜひ一度利用してみてください。



※ 他機関からの図書の取寄せは、有料サービスとなります。

図書館だより 第50号  
(平成26年10月1日発行)

編集・発行

岩手県立大学  
教育研究支援室  
図書グループ

TEL : 019-694-2070  
FAX : 019-694-2071